

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高鍋町	四季彩のむら区域(太平寺)	令和2年3月30日	令和2年3月30日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	8.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	7.2ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	3.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.5ha
(備考)	

2 対象地区の課題

若手農業者の減少、農家の高齢化による、地域を支えられる農業者の不足。それに伴う農地の利用減、耕作放棄地の増加。また、井戸や水路等の老朽化。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地集積等に関する方針

中心的経営体への農地集積を進める。

井戸や水路等のインフラ整備をすすめ、老朽化に対応し、担い手が耕作を続けられる環境づくりに努める。

耕作者の高齢化に対応するため、外部から若い耕作者を呼び込むための取組みを行う。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

棚田という特殊な環境にあり、そこが集落の魅力でもあるため、大規模化に対応するための基盤整備よりも、景観を含んだ現在の環境を保全するための体制を強化する。

集落に興味を持つ人を増やすため、有機農法、合鴨農法と言った一般的に興味を惹く取組みを域内で実践し、集落の知名度向上を図り、また特異な農法を実践可能な集落としての魅力を向上させる。

集落の管理と保全のためにルールの明確化や指導を担う者を置くなど、耕作者が外部から参入しやすい体制を整える。